

SUPER 11 ④ 語彙に強くなる特別ゼミ

【1】接頭辞問題(1～2)

(1) 接頭辞 com- の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 共に ② 前に ③ 外へ ④ 下へ

company・combine・communicate・compare・complete

(2) 接頭辞 em-(=en- の異形。主に名詞・形容詞について動詞を作る)の表す意味として最も適切なものを①～④から1つ選びなさい。

- ① 共に ② 外へ ③ ～の中へ・～の状態にする ④ 上へ

empower・embody・employ・embed・embrace

【2】語尾・品詞問題(3～4)

(3) -ful で終わる語の品詞は何か。

例:useful, beautiful, careful, helpful, successful

(4) -er で終わる語の品詞は何か。

例:teacher, writer, speaker, player, worker

【3】語源問題(5～9)

(5) 語源 patri の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 父・祖国 ② 母 ③ 子ども ④ 王

patriot・patriotic・patriotism・patriarch・paternal

(6) 語源 voy / via の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 道・進む ② 持つ ③ 見る ④ 数える

voyage・convoy・via・obvious・deviate

(7) 語源 vade の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 引く ② 行く ③ 投げる ④ 保つ

invade・evade・pervade・invasion・evasive

(8) 語源 micro- の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 巨大な ② 小さい ③ 長い ④ 新しい

microphone・microscope・microorganism・microchip・microwave

(9) 語源 poly- の表す意味を①～④から1つ選びなさい。

- ① 一つ ② 少ない ③ 多い ④ 同じ

polygon・polyglot・polyester・polytechnic・polytheism

【4】多義語・品詞問題(10～11)

(10) as の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

as()()()()

(11) in の語の主な使い方(品詞)を答えなさい。

in()()

解答

(1) ① 共に (2) ③ ~の中へ・~の状態にする (3) 形容詞 (4) 名詞 (5) 動詞 (6) ① 道・進む (7) ② 行く (8) ② 小さい (9) ③ 多い (10) 前置詞・接続詞・副詞 (11) 前置詞・副詞

解答解説

(1) com- :① 共に

解説:com- は「共に」「一緒に」を表す接頭辞。
company[kámpəni]「会社・仲間」= 共にパンを食べる人々 / combine[kəmbáin]「結合する」= 共にする / communicate[kəmjú:nikeit]「伝達する」= 共に分かち合う / compare[kəmpéə]「比較する」= 共に並べる / complete[kəmplí:t]「完成した」= すべてが共に満たされた / cooperate[kouópəreit]「協力する」= 共に働く。語源の中心は「共に」である。

(2) em- :③ ~の中へ・~の状態にする

解説:em- は en- の異形で、「~の中へ」「~の状態にする」を表す接頭辞。また、主に名詞や形容詞について動詞を作る。

embrace[embréis]「抱きしめる」= 腕の中へ入れる / empower[impáue]「力を与える」= power(力)+ em → 力を与える / embody[imbódi]「具体化する」= body(身体)+ em → 身体を与える / employ[implói]「雇う」= 仕事の中へ置く / embed[imbéd]「埋め込む」= 中へ入れる / enrich[inríʃ]「豊かにする」= rich(豊かな)+ en → 豊かな状態にする / enlarge[inlá:dʒ]「拡大する」= large(大きい)+ en / enable[inéibəl]「可能にする」= able(できる)+ en。語源のイメージは「中へ入れる」「~の状態にする」である。

(3) -ful :形容詞

解説:-ful は「~に満ちた」「~を持つ」を表す形容詞語尾。

useful[jú:sfəl]「役に立つ」/ beautiful[bjú:təfəl]「美しい」/ careful[kéəfəl]「注意深い」/ helpful[hélpfəl]「役に立つ」/ successful[səksésfəl]「成功した」/ thankful[θæŋkfəl]「感謝している」/ powerful[páuefəl]「強力な」.-ful=形容詞である。

(4) -er :名詞

解説:-er は「~する人」「~するもの」を表す名詞語尾。

teacher[tí:tʃə]「教師」/ writer[ráitə]「作家」/ speaker[spí:kə]「話し手」/ player[pléiə]「選手」/ worker[wó:kə]「労働者」/ driver[dráivə]「運転手」/ runner[ránə]「走者」.-er は人や道具を表す名詞を作る。

(5) patri :① 父・祖国

解説:patri は father「父」, fatherland「祖国」を表す語源。もともとは「父」に関係し、そこから「父祖の国・祖国」という意味にも広がる。

patriot[péitriət]「愛国者」= patri(祖国)+ ot → 祖国を愛する人 / patriotic[pèitriótik]「愛国的な」= patriot「愛国者」+ ic / patriotism[péitriətizəm]「愛国心」= patriot+ism / patriarch[péitrià:k]「家長・族長」= patri(父)+ arch(支配者)→ 父として支配する者 / paternal[pəté:nəl]「父の・父親らしい」= pater(父)+ nal / patrilineal[pætrilíniəl]「父系の」= patri(父)+ lineal(血統の)。すべて「父・祖国」のイメージで説明できる。

(6) voy / via :① 道・進む

解説:voy / via は road「道」, go「進む」を表す語源。

voyage[vóiidʒ]「航海」= 道を進む旅 /
convoy[kónvoi]「護送する」= 共に進む /
via[váiə]「～経由で」= 道を通して /
obvious[óbviəs]「明白な」= 道の上にある
→ 誰にでも見える / deviate[dí:vieit]「逸脱する」= 道から外れる / previous
[pri:viəs]「前の」= 前の道にある。語源の中心は「道・進む」である。

(7) vade :② 行く

解説:vade は go「行く」を表す語源。

invade[invéid]「侵入する」= 中へ行く /
evade[ivéid]「逃れる」= 外へ行く /
pervade[pəvéid]「充満する」= 至る所へ行く /
wade[wéid]「歩いて渡る」= 水の中を行く /
invasion[invéizən]「侵略」/
evasive[ivéisiv]「言い逃れをする」。共通イメージは「行く」である。

(8) micro- :② 小さい

解説:micro- は「小さい」を表す語源。

microphone[máikrəfoun]「マイク」= 小さな音を大きくする装置 / microscope
[máikrəskoup]「顕微鏡」= 小さいものを見る道具 / microorganism
[màikrouó:gənàizəm]「微生物」/
microchip[máikrəutʃip]「マイクロチップ」/
microeconomics[màikrouèkənómiks]「ミクロ経済学」/
microwave[máikrəwèiv]「電子レンジ」。語源の核は「小さい」である。

(9) poly- :③ 多い

解説:poly- は「多い」「多数の」を表す語源。

polygon[póligɔn]「多角形」/ polyglot
[póliglot]「多言語話者」/ polyester
[pòliéstə]「ポリエステル」/ polytechnic
[pòlitéknik]「工科大学」/ polytheism
[póli θi:izəm]「多神教」/ polymath
[pólimæθ]「博学者」。語源の中心は「多い」である。

(10) as :前置詞・接続詞・関係代名詞・副詞

解説:as は前置詞・接続詞・関係代名詞・副詞として使われる最重要語である。

He works as a teacher.(彼は教師として働いている)では前置詞。As I was tired, I went to bed.(疲れていたのので寝た)では接続詞。Such books as are useful should be read.(役に立つ本は読むべきだ)では関係代名詞。As usual, he was late.(いつものように彼は遅れた)では副詞。その他にも「～するにつれて」「～と同じように」「～なので」「～するとき」など多くの意味を持つため、品詞判断が重要である。

(11) in :前置詞・副詞

解説:in は前置詞と副詞として使われる。

He is in the room.(彼は部屋の中にいる)では前置詞。Please come in.(中に入りなさい)では副詞。前置詞の場合は後ろに名詞(目的語)を伴い、副詞の場合は目的語を伴わない。
The train is now in.(列車が到着している) / The crops are in.(収穫が済んでいる)などの表現もあり、反意語 out とともに頻出である。品詞判別問題では、後ろに名詞があるかどうかをまず確認する。